

日本伝統音楽研究センター十五年史

東 正子 編

年 表

平成 12 年 (2000)

- 4 月 1 日
京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター開設
廣瀬量平名誉教授が初代所長に就任
教授 久保田敏子 着任
助教授 田井竜一 着任
助教授 スティーヴン・G・ネルソン 着任
- 5 月 1 日
教授 長廣比登志 着任
助教授 高橋美都 着任
- 7 月 1 日
京都市立芸術大学創立 120 周年記念式典開催。
- 12 月 2 日
京都市立芸術大学新研究棟披露式挙。大学院美術研究科博士(後期)課程及び日本伝統音楽研究センター開設記念
- 12 月 2 日～平成 13 年 1 月 31 日
開設記念展示 2「文楽人形浄瑠璃 故四世竹本津大夫遺品」開催。
- 12 月 2 日～4 日
開設記念展示 2「地歌・箏曲家 北川芳能遺品」開催。
- 12 月 2 日～平成 13 年 1 月 31 日
開設記念展示 3 「酒井信好写真展 鄙の舞楽 in 京都」開催。

平成 13 年 (2001)

- 3 月 10 日
開所記念シンポジウム「今、なぜ日本伝統音楽か」実施。
- 10 月 1 日
日本伝統音楽研究センターホームページ開設。
- 11 月 6 日～24 日
客員研究員 Prof. Dr. Tilman SEEBASS (インスブルック大学音楽学研究所所長) 受け入れ。

- 11 月 21 日
研究センター特別講演会 “Ways of thinking about East Asian images of music” (「東アジアにおける音楽図像をどう考えるか」)、実施。
- 11 月 28 日
公開講座「現代邦楽への招待」実施。
- 12 月 1 日～22 日
客員研究員 Dr. Allan MARETT (シドニー大学音楽学科長) 受け入れ。

平成 14 年度 (2002)

- 2 月 16 日
公開講座「楽器と人間 その 1」実施。
- 3 月 31 日
日本伝統音楽資料集成 1「邦楽歌詞研究 I 三味線組歌表組」発行。
教授 長廣比登志 退任
- 4 月 1 日
教授 吉川周平 着任
- 9 月 1 日～平成 15 年 2 月 28 日
客員研究員 Dr. Elizabeth A. OYLER (セントルイス市ワシントン大学 日本文学科助教授) 受け入れ。
- 12 月 7 日
公開講座「『平家物語』の中の音楽 その 1 琵琶弾きの経正」実施。
- 12 月 24 日
「体験で知る箏・三味線の効果的指導方法」実施。

平成 15 年 (2003)

- 1 月 17 日
公開講座「神の顕現 " 日韓の宗教的儀礼に見られるかたちと意味 "」実施。
- 3 月 31 日
日本伝統音楽資料集成 2「邦楽歌詞研究 II 三味線組歌 破手組・裏組」発行。
- 8 月 1 日～平成 17 年 5 月 31 日
客員研究員 Dr. Philip Flavin (カリフォル

ニア大学バークリー校 ポストドクター) 受け入れ。

平成 16 年 (2004)

- 1 月 28 日
公開講座 廣瀬量平退任記念「日本の伝統音楽とその発展—十三絃箏から二十五絃箏まで—」実施。
- 1 月 29 日
公開講座「日本伝統音楽の現在 (いま) — 講演と二十五絃箏の演奏—」実施。
- 2 月 7 日
公開講座「日本の伝統的な音楽と身体動作から読みとられるもの—カミとホトケをめぐって—」実施。
- 3 月 31 日
日本伝統音楽研究センター研究紀要「日本伝統音楽研究 第 1 号」発行。
日本伝統音楽資料集成 3「邦楽歌詞研究 3 三味線組歌 中組・奥組」発行。
日本伝統音楽資料集成 4「日本三代実録音楽年表」発行。
所長 廣瀬量平 退任
教授 吉川周平 退任
助教授 スティーヴン・G・ネルソン 退任
- 4 月 1 日
所長 吉川周平 着任
教授 後藤静夫 着任
助教授 竹内有一 着任
- 10 月 7 日
公開講座「2 時間でわかる世界遺産・文楽」実施。

平成 17 年 (2005)

- 1 月 22 日
公開講座「知られざる中尾都山の魅力—五十回忌追善レクチャー・コンサート—」実施
- 3 月 19 日
公開講座「和楽器のルーツをたずねて—中央アジアの楽器と音楽—」実施。
- 3 月 31 日
日本伝統音楽研究センター研究紀要「日本伝統音楽研究 第 2 号」発行。
日本伝統音楽資料集成 5「四天王寺聖霊会舞楽・能生町白山神社舞楽・遠江国一宮小國神社古式舞楽における太平楽 (泰平楽) の三者比較」発行。
助教授 高橋美都 退任
- 4 月 1 日
助教授 藤田隆則 着任
- 4 月
収蔵資料の閲覧提供、及び、収蔵資料データベースの公開を開始。

- 5 月 14 日
公開講座「祇園囃子の世界」実施。
- 6 月 18 日
公開講座「京都で考える江戸の歌舞伎舞踊の動作と美学—歌舞伎舞踊と盆踊りの核になる動作をめぐって—」実施。
- 6 月
京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター研究叢書 1「都市の祭礼—山・鉦・屋台と囃子—」発行。
- 11 月 30 日
公開講座「知られざる中尾都山の魅力 (その 2) 尺八の指導法と合奏法—尺八吹奏に挑戦—」実施。

平成 18 年 (2006)

- 3 月 31 日
日本伝統音楽研究センター研究紀要「日本伝統音楽研究 第 3 号」発行。
日本伝統音楽資料集成 6「日本伝統音楽に関する歴史的音源の発掘と資料化」発行。
「田邊尚雄・秀雄旧蔵 楽器コレクション図録」発行。
- 6 月 1 日
伝音セミナー「古曲保存会レコード その 1」開講。
- 7 月 6 日
伝音セミナー「国際文化振興会レコード (KBS) その 1」開講。
- 8 月 3 日
伝音セミナー「国際文化振興会レコード (KBS) その 2」開講。
- 9 月 7 日
伝音セミナー「語り物の流れ」開講。
- 10 月～
展覧ギャラリー「“写し魔” 田邊尚雄—知を集積する方法—」[日本伝統音楽研究センター所蔵 田邊コレクションの楽器]
- 10 月 4 日～9 日
京都国際会議における展覧「日本伝統音楽研究センター所蔵 田邊コレクションの楽器」実施。
- 10 月 7 日
京都国際会議におけるワークショップ「日本伝統音楽研究センター所蔵 田邊コレクションの楽器」実施。
京都国際会議における講演「音楽の知そして平和」実施。
京都国際会議における公演「黄檗の声明 (凡唄)」実施。
- 10 月 12 日
伝音セミナー「SP レコードによる邦楽の流れ」開講。

- 11月2日
伝音セミナー「和洋折衷の音楽:和洋合奏」開講。
- 11月15日
公開講座「じょうり西・東一義太夫節と常磐津節」実施。
- 12月7日
伝音セミナー「和洋折衷の音楽:和洋合奏」開講。
- 12月20日
公開講座「仏教と雅楽一法会に触れてみる一」実施。

平成 19 年 (2007)

- 1月11日
伝音セミナー「声を使った芸を聞く」開講。
- 2月1日
伝音セミナー「富崎春昇の至芸を聴く」開講。
- 3月17日
公開講座「地歌箏曲の楽しみーレクチャーと明日を担う各派若手演奏家による魅惑のひとつときー」実施。
- 3月31日
日本伝統音楽研究センター研究紀要「日本伝統音楽研究 第4号」発行。
- 4月～
展観ギャラリー「楽器と解説『琵琶』」
- 5月10日
伝音セミナー「平家琵琶を中心とした中世の語りと歌」開講。
- 6月～
展観ギャラリー「音曲の流れと五十音図の変遷」
- 6月7日
伝音セミナー「江戸の浄瑠璃を聞くー古曲保存会レコード その2」開講。
- 7月5日
伝音セミナー「『日本民謡レコード』をきく」開講。
- 9月6日
伝音セミナー「名演のレコードと体験した生演奏」開講。
- 9月22日
公開講座「今よみがえる平家(平曲)ー物語る声と音ー」実施。
- 9月～
展観ギャラリー「昭和の美学書としての『日本音楽の性格』について」
- 10月～
展観ギャラリー「楽器と解説『三味線のいろいろ』」
- 10月4日
伝音セミナー「富崎春昇を聴く」開講。

- 11月1日
伝音セミナー「山田耕筰を聴く」開講。
- 11月25日
公開講座「京の芸能 六斎念仏の世界」実施。
- 12月
SPレコード音源のインターネット公開を開始。
- 12月6日
伝音セミナー「大正・昭和初期の童謡を聴く」開講。

平成 20 年 (2008)

- 1月～
展観ギャラリー「正本(詞章本)のいろいろー義太夫節を中心にしてー」
- 1月10日
伝音セミナー「常磐津林中を聴く」開講。
- 2月7日
伝音セミナー「義太夫節さまざまー男と女・芝居と素浄瑠璃ー」開講。
- 2月10日
公開講座「松囃子ー足利義教が高めた芸能のかたちと意味ー」実施。
- 3月9日
公開講座「地歌箏曲の楽しみIIー箏手付の妙味で楽しむ洛中洛外絵巻ー」実施。
- 3月31日
日本伝統音楽研究センター研究紀要「日本伝統音楽研究 第5号」発行。
日本伝統音楽研究センター研究報告「日本の伝統音楽を伝える価値ー教育現場と日本音楽ー」発行。
日本伝統音楽研究センター研究報告「詞章本の世界ー近世のうた本・浄瑠璃本の出版事情ー」発行。
所長 吉川周平 退任
教授 久保田敏子 退任
- 4月1日
所長 久保田敏子 着任
教授 山田智恵子 着任
- 4月～
展観ギャラリー「センター所蔵の祇園祭画像資料」
展観ギャラリー「謡本入門」
- 5月8日
伝音セミナー「明治大正期の能の名手たちー謡と鼓を中心に」開講。
- 5月15日～6月16日
客員研究員 田 映春博士(シンガポール国立大学 中国研究学部 助教授)受け入れ。
- 5月21日～7月16日
客員研究員 Dr. ROSEY LEE (パークリー音楽院聴音学科 准教授)受け入れ。

5月31日 公開講座「祇園祭り鶏鉾の世界」実施。

6月5日 伝音セミナー「花街のうたを聴く—近代日本の女性ボーカリストたち—」開講。

7月3日 伝音セミナー「祭礼囃子のSPレコードをきく」開講。

9月～ 展観ギャラリー「胡弓とその周辺」

9月4日 伝音セミナー「俗謡—端唄・小唄・俗曲など—を聴く」開講。

10月～ 展観ギャラリー「郷土出版物における音楽書の現在—日本海地域を中心に—」

10月2日 伝音セミナー「明治期の長唄と義太夫節をきく—レコードと楽譜の接点」開講。

11月6日 伝音セミナー「義太夫節—美声？ 難声？」開講。

12月4日 公開講座「一都市における西洋音楽の受容—松江市昭和2年秋の例を中心に—」実施。

12月10日 日本伝統音楽研究センター研究報告「祇園囃子の源流に関する研究」発行。

2008年度(2008.4～2009.3)
 どんおん連続講座
 日本伝統音楽の資料を読む—伝統芸能をよりよく鑑賞するために—
 「中世芸能の資料—能をよりよく鑑賞するための背景として—」(前期)「近世芸能の資料—三味線音楽に親しむ秘訣—」(後期)
 (2講座とも全10回)実施。

平成21年(2009)

1月 展観ギャラリー「寄席高座の音曲芸 活動写真館の起源をめぐって」

1月8日 伝音セミナー「寄席の音曲芸を聴く—立花家橘之助を中心に—」開講。

1月12日 公開講座「胡弓の謎を探る—その源流と魅力—」実施。

2月 展観ギャラリー「どんおん楽器コレクション」

2月5日 伝音セミナー「映画説明レコードとはなにか？」開講。

2月7日 公開講座「幸若舞に能の源流をみる—中世芸能の伝承と復元〈敦盛〉」実施。

3月31日 日本伝統音楽研究センター研究紀要「日本伝統音楽研究 第6号」発行。
 日本伝統音楽研究センター研究報告「民俗芸能における神楽の諸相」発行。
 日本伝統音楽資料集7「文政元年版『歌曲時習考』収載の現行曲研究—詞章翻刻と現行の異同検証—」発行。
 音楽CD「幸若舞〈安宅〉<敦盛>—平成20年度公開講座における上演—」発行。

5月7日 伝音セミナー「ホルンボステル『東洋の音楽』をきく」開講。

5月16日 公開講座「南観音山の囃子」実施。

6月4日 伝音セミナー「芝居を離れた浄瑠璃—新内を聴く—」開講。

6月27日 公開講座「落語・音曲・芝居 創作和風味遊地歌留—「らくだ」に見る芸能の交流」実施。

7月2日 伝音セミナー「長浜曳山祭りのシャギリをきく」開講。

9月 展観ギャラリー「雅楽の楽器」

9月3日 伝音セミナー「書生節にきく流行歌の近代化」開講。

10月1日 伝音セミナー「『雅楽』を聴く」開講。

11月5日 伝音セミナー「清元節を聴く」開講。

12月3日 伝音セミナー「女性による寄席の音曲芸」開講。

2009年度(2009.4～2010.3)
 「どんおん連続講座」
 A:「近世のうた本・浄瑠璃本の出版事情—三味線音楽に親しむために—」
 B:「近代における諸芸・雑芸の音楽的エッセンス」
 C:「能をよりよく鑑賞するための、音楽演出面のポイント」
 D:「中世京都の芸能空間—文献史料・絵画史料から読み解く—」
 (4講座各8～10回)実施。

平成 22 年 (2010)

- 1 月 7 日
伝音セミナー「『かっぽれ』の謎」開講。
- 3 月 6 日
公開講座「芸能における笑いと遊び心」実施。
- 3 月 31 日
日本伝統音楽研究センター研究紀要「日本伝統音楽研究 第 7 号」発行。
日本伝統音楽研究センター研究報告「近代日本における音楽・芸能の再検討」発行。
DVD ビデオ「国指定無形重要民俗文化財一幸若舞＜安宅＞＜敦盛＞」発行。
- 5 月 6 日
伝音セミナー「SP レコードの作り方」開講。
- 6 月 3 日
伝音セミナー「レーベルいろいろ」開講。
- 6 月 26 日
公開講座「山口鷺流（さざりゅう）狂言一地域伝承の可能性一」実施。
- 7 月
展覧ギャラリー「SP レコードレーベルに見る 日蓄一コロムビアの歴史」
- 7 月 3 日
伝音セミナー「日本の仏教における声明の伝承と楽譜」開講。
- 9 月 2 日
伝音セミナー「『八島もの』を聴く」開講。
- 10 月 7 日
伝音セミナー「浪曲のいろいろ」開講。
- 11 月 7 日
公開講座「京の芸能に見る創造の可能性一見え隠れする本歌取りの精神一」実施。
- 12 月 7 日
伝音セミナー「山城少椽の長時間レコードを聴く」開講。
- 2010 年度 (2010.4 ~ 2011.3)
「でんおん連続講座」
A: 「丸本でよむ義太夫節～菅原伝授手習鑑・三段目桜丸切腹～」
B: 「謡を朗読する～能をたのしく鑑賞するための準備～（前期）」
C: 「謡を朗読する～能をたのしく鑑賞するための準備～（後期）」
D: 「新民謡の世界 『新しさ』とは？『民謡』とは？」
E: 「古代中世の雅楽 ～院政期の箏譜『仁智要録』を弾く・聴く～」
(4 講座各 5 ~ 10 回) 実施。

平成 23 年 (2011)

- 1 月 6 日
伝音セミナー「民謡・新民謡の録音を聴く」開講。
- 2 月 5 日 ~ 13 日
連続公開講座・および展覧「京観世の伝統一記録と記憶から聞こえるもの」
- 3 月 3 日
伝音セミナー「花街をどりのレコード」開講。
- 3 月 31 日
日本伝統音楽研究センター研究紀要「日本伝統音楽研究 第 8 号」発行。
図録「SP レコードレーベルに見る日蓄一日本コロムビアの歴史」発行。
- 5 月 12 日
伝音セミナー「『SP レコードレーベルに見る 日蓄一日本コロムビアの歴史』を聴く」開講。
- 6 月 2 日
伝音セミナー「菊原琴治を聴く」開講。
- 7 月 7 日
伝音セミナー「三代目常磐津松尾太夫を聴く」開講。
- 8 月
展覧ギャラリー 美術学部オープンキャンパス「講義体験 2」関連展示「図像から音がたちあがる一伝統音楽の世界から一」
- 9 月 1 日
伝音セミナー「長唄の名人達」開講。
- 9 月 4 日
公開講座「長唄の美と魅力」実施。
- 8 月 30 日 ~ 9 月 4 日
伝音セミナー関連展示「SP レコードレーベルに見る 日蓄一日本コロムビアの歴史」実施。
- 9 月 ~ 11 月
展覧ギャラリー「『かっぽれ』の謎を解き、踊る」
- 10 月 6 日
伝音セミナー「名家のレコード」開講。
- 11 月 17 日
伝音セミナー「箏組歌、段物、砧物のレコード」開講。
- 12 月 1 日
伝音セミナー「箏曲長唄の長時間レコード」開講。
- 12 月 1 日
DVD ビデオ「山口県指定無形文化財 山口鷺流狂言＜柿山伏＞＜千鳥＞＜鬼瓦＞」発行。
- 12 月 9 日
公開講座「義太夫節 稀曲の復活」実施。

2011 年度 (2011.4 ~ 2012.3)

- 「でんおん連続講座」
A : 「能を解剖する一謡の朗読、手付・形付の読解を通じて」
B : 「義太夫節の音楽としてのしぐみを理解する」
C : 「丸本で読む義太夫節—義経千本桜・三段目すし屋—」
D : 「『かつぼれ』の謎を解き、踊る」
E : 「浄瑠璃の『語り』(常磐津節)を体験する」
F : 「古代中世の雅楽—古楽譜から読み解く古代大陸の歌謡的旋律」
G : 「絵画史料と文献からさぐる『詩歌管絃』再考—聴こえない音から何が読みとれるのか—」
(7 講座各 3 ~ 10 回) 実施。

平成 24 年 (2012)

2 月 ~

展観ギャラリー「舞楽を描く—(日本伝統音楽研究センター新収蔵資料) 望月玉川旧蔵〔舞楽図〕を中心として—(第一期: でんおん連続講座 2011 - G 関連)

3 月 3 日

公開講座「山田検校の魅力を探る—その着眼点と既成曲の摂取—」実施。

3 月 3、4 日

公開講座関連企画「寄贈古楽器の展示と実演」実施。

3 月 8 日

伝音セミナー「地歌・箏曲レコードの黄金時代」開講。

3 月 31 日

日本伝統音楽研究センター研究紀要「日本伝統音楽研究 第 9 号」発行。

日本伝統音楽研究センター研究報告「地歌箏曲研究」
「歌と語りの言葉とふしの研究」発行。

久保田敏子所長 退任

後藤静夫教授 退任

4 月 1 日

後藤静夫所長 着任

田鍬智志准教授 着任

4 月 ~

展観ギャラリー「『舞楽』を描く—望月玉川旧蔵〔舞楽図〕を中心として—(第二期)」

5 月 10 日

伝音セミナー「三世竹本大隅太夫の『熊谷陣屋』を聴く」開講。

6 月 7 日

伝音セミナー「謡の録音をきく」開講。

7 月 5 日

伝音セミナー「『寺子屋』のいろいろ」開講。

9 月 ~

展観ギャラリー「琵琶と三味線—センター収蔵資料より—」

9 月 6 日

伝音セミナー「能の囃子の録音をきく」開講。

10 月 4 日

伝音セミナー「上方歌舞伎の録音を聴く—『雁のたより』—」開講。

10 月 6 日

公開講座「題目立への誘い—中世芸能と神事の世界」実施。

11 月 1 日

伝音セミナー「岡本文弥の新内節を聴く」開講。

12 月 6 日

伝音セミナー特別講演「ロシアにおける日本音楽への関心」開講。

2012 年度 (2012.4 ~ 2013.3)

「でんおん連続講座」

A : 「能の音楽の原型をさぐる—他のジャンルの比較や演出資料を通じて」

B : 「義太夫節の音楽としてのしぐみを理解する」

C : 「雅楽よもやま噺—音と文字からのアプローチ—」

D : 「歌舞伎音楽入門—江戸と上方—」

(4 講座各 6 ~ 10 回) 実施。

平成 25 年 (2013)

1 月 10 日

伝音セミナー「義太夫三味線の表現」開講。

1 月 31 日

「義太夫節 稀曲の復活」(DVD / ブルーレイ) 発行。

2 月 3 日

公開講座「黒御簾音楽を探る—芸談と資料研究—」実施。

2 月 7 日

伝音セミナー「昭和後期 " 現代音楽 " の発掘」開講。

3 月 7 日

伝音セミナー「祇園小唄の世界」開講。

3 月 31 日

「長唄の美と魅力—表現を生み出すカー—」(DVD / ブルーレイ) 発行。

5 月 9 日

伝音セミナー「演奏家の個性」開講。

6 月 6 日

伝音セミナー「宝生流の謡をきく」開講。

6月30日
日本伝統音楽研究センター研究紀要「日本
伝統音楽研究 第10号」発行。

7月～
展観ギャラリー「コト・琴・箏—日本の長
胴絃楽器—」

7月4日
伝音セミナー「お伊勢参りとその周辺」開
講。

9月5日
伝音セミナー「上方歌舞伎の囃子の世界」
開講。

10月3日
伝音セミナー「義太夫節の『節尽くし』を
聴く I」開講。

10月3日～
展観ギャラリー「京観世岩井家の歴史」

11月7日
伝音セミナー「義太夫節の『節尽くし』を
聴く II」開講。

11月9日
公開講座「西浦田楽—伝承の現在と未来
—」実施。

2013年度(2013.4～2014.3)
「でんおん連続講座」
A:「義太夫節の音楽としてのしぐみを理解
する」
B:「丸本で読む義太夫節」
C:「能の音楽の原型をさぐる—他のジャン
ルの比較や演出資料を通じて」
D:「謡を楽しむ文化—京観世とその周辺」
(4講座各8～10回)実施。

平成26年(2014)

1月9日
伝音セミナー「乗り物とレコード」開講。

1月25日
公開講座「浪曲の音楽性について考える」実施。

2月6日
伝音セミナー「雅楽の今昔～復元・再現演
奏を聴く～」開講。

3月6日
伝音セミナー「岡本文弥の新内節を聴くそ
の2」開講。

3月31日
後藤静夫所長 退任
田井竜一准教授 退任

4月1日
時田アリソン所長 着任
武内恵美子准教授 着任

4月30日
DVDビデオ「西浦田楽—伝承の現在と未
来—」発行。

4月～6月
展観ギャラリー「日本の楽器」

5月8日
伝音セミナー「西浦田楽の歌謡を聞く」開
講。

6月5日
伝音セミナー「一中節『夕霞浅間嶽』をき
く」開講。

6月30日
日本伝統音楽研究センター研究紀要「日本
伝統音楽研究 第11号」発行。

7月3日
伝音セミナー「昭和後期の”現代音楽”の
発掘」開講。

7月～8月
展観ギャラリー「能・狂言を描く」

9月4日
伝音セミナー「古曲保存会義太夫節レコー
ドとその後」

9月14日
公開講座「雅楽 時空をこえた出会い 遠州
の小京都 森町の舞楽×古代中世雅楽譜の
解説」実施。

10月～
展観ギャラリー「凶形楽譜—日本音楽と西
洋音楽—」

10月2日
伝音セミナー「乗り物とレコード2」開催。

11月4日
伝音セミナー「秋田県の「掛唄」に見る娛
楽としての掛け合い歌」開講。

11月20日
公開講座「東アジアにおける近代音楽と作
曲」実施。

11月21日
国際シンポジウム「東アジアにおける近代
と音楽—データベースを軸として—」開催。

12月4日
伝音セミナー「東アジアにおける音楽の近
代とナショナル・アイデンティティ—グ
ローバル～ローカルの狭間で—」開講。

12月18日
伝音セミナー(兼、修士課程公開修了審査
プレゼンテーション)「真宗高田派に伝わ
る天台系声明」開講。

2014年度(2014.4～2015.3)
「でんおん連続講座」
A:「歌舞伎音楽入門2—豊後系浄瑠璃を軸
に—」
B:「能の音曲としての骨組み—囃子、曲
節、拍子、吟」
C:「音楽としての義太夫節」
D:「能を題材とした長唄曲1」
E:「平安末期・鎌倉期の舞楽—音楽と舞の

様式をさぐる一」
(5 講座各 2 ～ 10 回) 実施。

平成 27 年 (2015)

- 1 月 8 日
伝音セミナー (兼、修士課程公開修了審査
プレゼンテーション) 「門付けとしての三
番叟まわし」開講。
- 2 月 2 日
公開講座 「常磐津節の伝承と現在」実施。
- 2 月 5 日
伝音セミナー 「日本の作曲と民謡」開講。
- 3 月 5 日
伝音セミナー 「国勢調査とレコード」開講。
- 3 月 24 日
所長サロン 「『モスクワ音楽院における日
本の音楽』 Japanese music in the
Moscow Conservatory」開催。
- 3 月 31 日
日本伝統音楽研究センター研究報告 「三味
線音楽の旋律型研究一町田佳聲をめぐっ
て一」発行。
- 4 月
展覧ギャラリー 「『郷土研究 上方』の表
紙絵展」
- 4 月 21 日
所長サロン 「『そのあたりのものでござる』
ハワイの日本伝統音楽」開催。
- 5 月 21 日
伝音セミナー 「日本の作曲の近代を聴く一
山田耕筰と信時潔一」開講。
- 6 月 4 日
伝音セミナー 「京都の歌」開講。
- 6 月 13 日
公開講座 「『平家』から見た日本音楽の歴
史」実施。
- 6 月 30 日
日本伝統音楽研究センター研究紀要 「日本
伝統音楽研究 第 12 号」発行。
- 6 月 18 日
所長サロン 「自作を語る: Bat of No Bird
Island (2013)、大比礼 (2015)」開催。
- 6 月 23 日
所長サロン 「能の道・能への道」開催。
- 6 月 27 日
伝音セミナー 「舞楽いろいろ一映像でめぐ
る中央と地方の伝承一」開講。
- 7 月 20 日
公開講座 15 周年企画 特別伝音セミナー
「安藤朴翁の琴韻を聴く」実施。
- 7 月 30 日
伝音セミナー 「秋田民謡を聴く」開講。
DVD ビデオ 「雅楽 時空をこえた出会い
一遠州の小京都 森町の舞楽×古代中世雅

楽譜の解説一」発行。

- 8 月 6 日
伝音セミナー 「辞典の話一『音楽』はどの
ように記述されてきたのか一」開講。
- 10 月 1 日
伝音セミナー 「京都のうた 2一祇園甲部の
歌声」開講。
- 10 月 3 日
公開講座 「掛唄から見る即興と相互行為」
実施。
- 11 月 5 日
伝音セミナー 「『京都一京ことばと古都の
風物詩一』を聴く」開講。
- 11 月 25 日
DVD ビデオ 「平家」から見た日本音楽の
歴史」発行。
- 11 月 28 日
公開講座 「義太夫節の精華 一竹本駒之助
九段目を語る一」実施。
- 12 月 3 日
伝音セミナー 「日本映画のなかの伝統音
楽」開講。
- 2015 年度 (2015.4 ～ 2016.3)
「でんおん連続講座」
A: 「音楽としての義太夫節」
B: 「性と役を語り分ける一常磐津節『うつ
ぼ猿』実践入門一」
C: 「英語による日本音楽概論」
D: 「常磐津節実践入門『うつぼ猿』その
2」
E: 「琴の歴史と京都の琴士 1」
F: 「平安末期の雅楽一藤原師長の琵琶譜
『三五要録』と箏譜『仁智要録』を弾
く一」
(6 講座各 2 ～ 10 回) 実施。

平成 28 年 (2016)

- 1 月 7 日
伝音セミナー (兼、修士課程公開修了審査
プレゼンテーション) 「平安末・鎌倉期の
雅楽にみる 太食調 (たいしきちょう) の
呂・律」開講。
- 2 月 4 日
伝音セミナー 「金春流の謡をきく」開講。
- 3 月 2 日
京都市立芸術大学日本伝統音楽研究セン
ター 15 周年記念シンポジウム 「伝統音楽
の身体にふれる一新しい知に向けて一」開
催。
公開講座 「義太夫節 通し狂言の復曲」実
施。

別表：人事

所長

廣瀬 量平 : H. 12. 4—H. 16. 3
吉川 周平 : H. 16. 4—H. 20. 3
久保田敏子 : H. 20. 4—H. 24. 3
後藤 静夫 : H. 24. 4—H. 26. 3
時田アリソン : H. 26. 4—

教授

久保田敏子 : H. 12. 4—H. 20. 3
長廣比登志 : H. 12. 5—H. 14. 3
吉川 周平 : H. 14. 4—H. 16. 3
後藤 静夫 : H. 16. 4—H. 24. 3
山田智恵子 : H. 20. 4—
藤田 隆則 : H. 24. 4—

准教授 (助教授)

田井 竜一 : H. 12. 4—H. 26. 3
スティーヴン・G・ネルソン
: H. 12. 4—H. 16. 3
高橋 美都 : H. 12. 5—H. 17. 3
竹内 有一 : H. 16. 4—
藤田 隆則 : H. 17. 4—H. 24. 3
田鍬 智志 : H. 24. 4—
武内恵美子 : H. 26. 4—

客員教授

時田アリソン : H. 25. 4—H. 26. 3
徳丸 吉彦 : H. 26. 4—H. 27. 3
竹本駒之助 : H. 27. 4—H. 28. 3

非常勤講師 (特別研究員)

井澤 壽治 : H. 12. 10—H. 13. 3
上杉 紅童 : H. 12. 10—H. 14. 3
尾関 義江 : H. 12. 10—H. 14. 3
中原 香苗 : H. 12. 10—H. 15. 3
山田智恵子 : H. 12. 10—H. 13. 3
: H. 14. 4—H. 16. 3
岡田万里子 : H. 13. 4—H. 15. 3
和田 一久 : H. 13. 4—H. 16. 3
小川佳世子 : H. 14. 4—H. 16. 3
告井 幸男 : H. 15. 4—H. 17. 3
東 正子 (情報管理員) : H. 15. 4—
廣井 榮子 : H. 16. 4—H. 18. 3
三木 俊治 : H. 16. 4—H. 18. 3
森田 柁山 : H. 16. 4—H. 18. 3
小野 真 : H. 17. 4—H. 19. 3
奥中 康人 : H. 18. 4—H. 20. 3
龍城千与枝 : H. 18. 4—H. 20. 3
横山佳世子 : H. 18. 4—H. 20. 3
上野 正章 : H. 19. 4—H. 21. 3
: H. 24. 4—H. 26. 3
家塚 智子 : H. 20. 4—H. 22. 3

今田健太郎 : H. 20. 4—H. 22. 3
寺田真由美 : H. 20. 4—H. 22. 3
大西 秀紀 : H. 22. 4—H. 28. 3
田鍬 智志 : H. 22. 4—H. 24. 3
齋藤 桂 : H. 22. 4—H. 23. 3
三島 暁子 : H. 23. 4—H. 26. 3
前島 美保 : H. 24. 4—H. 26. 3
梶丸 岳 : H. 26. 4—
竹内 直 : H. 26. 4—

非常勤嘱託員 (学芸員・司書・研究補助員)

井口はる菜 : H. 12. 4—H. 16. 3
伊藤 志野 : H. 12. 9—H. 18. 3
今井 敏行 : H. 12. 9—H. 15. 3
四宮 豊 : H. 12. 9—H. 13. 3
水落 学 : H. 13. 4—H. 15. 3
川和田晶子 : H. 15. 4—H. 18. 3
光本 健吾 : H. 15. 4—H. 17. 3
池内 美絵 : H. 16. 4—H. 19. 3
齊藤 尚 : H. 17. 4—
小城 篤子 : H. 18. 4—H. 20. 3
末松 憲子 : H. 18. 4—H. 20. 3
木村 知美 : H. 19. 4—H. 21. 3
上田 学 : H. 20. 4—H. 21. 3
福井 善子 : H. 20. 4—H. 21. 3
高久 直子 : H. 21. 4—H. 28. 3

別 表 : おもな公開事業一覧

開催日	種別	タイトル (担当者)	会場
平成 12 年度 (2000)			
2001.3.10	開所記念 シンポジウム	「今、なぜ日本伝統音楽か」(廣瀬量平)	キャンパスプラザ京都
平成 13 年度 (2001)			
2001.11.21	特別講演会	「東アジアにおける音楽図像をどう考えるか」(スティーブン・G ネルソン)	キャンパスプラザ京都
2001.11.28	公開講座	「現代邦楽への招待」(長廣比登志)	京都芸術センター
2002.2.16		「楽器と人間その 1」(廣瀬量平・久保田敏子)	
平成 14 年度 (2002)			
2002.12.7	公開講座	「平家物語の中の音楽その 1」 琵琶弾きの経正—「竹生島詣」と「経正都落」—(スティーブン・G ネルソン)	法住寺 阿弥陀堂
2002.12.24	公開実践講座	「体験で知る箏・三味線の効果的指導方法」(久保田敏子)	京都芸術センター
2003.1.17	公開講座	「神の顕現—日韓の宗教的儀礼に見られるかたちと意味—」 (吉川周平)	キャンパスプラザ京都
平成 15 年度 (2003)			
2004.1.28	公開講座	「日本の伝統音楽とその発展—十三絃箏から二十五絃箏まで—」(廣瀬 量平)	京都コンサートホール
2004.1.29		「日本伝統音楽の現在(いま)—講演と二十五絃箏の演奏—」 (廣瀬量平)	京都市立芸術大学 大学会館ホール
2004.2.7		「日本の伝統的な音楽と身体動作から読みとられるもの—カミとホトケをめぐる—」(吉川周平)	キャンパスプラザ京都
平成 16 年度 (2004)			
2004.10.7	公開講座	「2 時間でわかる世界遺産・文楽」(後藤静夫)	京都市立芸術大学 講堂
2005.1.22		「知られざる中尾都山の魅力—五十回忌追善レクチャー・コンサート」(久保田敏子・森田柊山)	京都芸術センター
2005.3.19		「和楽器のルーツをたずねて—中央アジアの楽器と音楽」(三木俊治)	京都市立芸術大学 大学会館ホール
平成 17 年度 (2005)			
2005.5.14	公開講座	「祇園囃子の世界」(田井竜一)	京都芸術センター
2005.6.18		「京都で考える江戸の歌舞伎舞踊の動作と美学」(吉川周平)	池坊短期大学 こころホール
2005.11.30		「知られざる中尾都山の魅力・その 2 尺八の指導法と合奏法—尺八吹奏に挑戦—」(久保田敏子・森田柊山)	京都市立芸術大学 講堂

平成 18 年度 (2006)				
2006.10.4-9	京都国際会議	展示	展観「日本伝統音楽研究センター所蔵 田邊コレクションの楽器」	日本伝統音楽研究センター 7 階 展示ギャラリー
2006.10.7		ワークショップ	ワークショップ「日本伝統音楽研究センター所蔵 田邊コレクションの楽器」(三木俊治)	日本伝統音楽研究センター
2006.10.7		公開講座	講演「音楽の知そして平和」(ボニー・ウェイド)	京都市立芸術大学 講堂
2006.10.7			公演「黄檗の声明(梵唄)」(後藤静夫)	
2006.11.15	公開講座	じょうるり西・東一義太夫節と常磐津節一(竹内有一)	京都府立府民ホール アルティ	
2006.12.20		仏教と雅楽一法会に触れてみる一(小野真)	京都市立芸術大学 講堂	
2007.3.17		地歌箏曲の楽しみ--レクチャーと明日を担う各派若手演奏家による魅惑のひとつとき--(久保田敏子)	京都芸術センター	
2006.6.1	伝音セミナー	第 1 回「古曲保存会レコード その 1」(竹内有一)	日本伝統音楽研究センター合同研究室 1	
2006.7.6		第 2 回「国際文化振興会レコード(KBS) その 1」(田井竜一)		
2006.8.3		第 3 回「国際文化振興会レコード(KBS) その 2」(藤田隆則)		
2006.9.7		第 4 回「語り物の流れ」(後藤静夫)		
2006.10.12		第 5 回「SP レコードによる邦楽の流れ」(横山佳世子)		
2006.11.2		第 6 回「和洋折衷の音楽: 和洋合奏」(奥中康人)		
2006.12.7		第 7 回「日本音楽」と「日本伝統音楽」(吉川周平)		
2007.1.11		第 8 回「声を使った芸を聞く」(龍城千与枝)		
2007.2.1		第 9 回「富崎春昇の至芸を聴く」(久保田敏子)		
平成 19 年度 (2007)				
2007.9.22	公開講座	「今よみがえる平家(平曲)-物語る声と音」(藤田隆則)	キャンパスプラザ京都	
2007.11.25		「京の芸能 六斎念仏の世界」(田井竜一)	京都芸術センター	
2008.2.10		「松囃子一足利義教が高めた芸能のかたちと意味一」(吉川周平)	ウィングス京都	
2008.3.9		「地歌箏曲の楽しみ II ～箏手付の妙味で楽しむ洛中洛外絵巻～」(久保田敏子)	京都芸術センター	
2007.5.10	伝音セミナー	第 1 回「平家琵琶を中心とした中世の語りと歌」(藤田隆則)	日本伝統音楽研究センター合同研究室 1	
2007.6.7		第 2 回「江戸の浄瑠璃を聞く一古曲保存会レコード その 2」(竹内有一)		
2007.7.5		第 3 回「『日本民謡レコード』をきく」(田井竜一)		
2007.9.6		第 4 回「名演のレコードと体験した生演奏」(吉川周平)		
2007.10.4		第 5 回「富崎春昇を聴く」(久保田敏子)		
2007.11.1		第 6 回「山田耕筰を聴く」(横山佳世子)		
2007.12.6		第 7 回「大正・昭和初期の童謡を聴く」(奥中康人)		
2008.1.10		第 8 回「常磐津林中を聴く」(龍城千与枝)		
2008.2.7		第 9 回「義太夫節さまざま-男と女・芝居と素浄瑠璃」(後藤静夫)		

平成 20 年度 (2008)			
2008.5.31	公開講座	「祇園祭り鶏鉾の世界」(田井竜一)	京都芸術センター
2008.12.4		「一都市における西洋音楽の受容 —松江市昭和 2 年秋の例を中心に—」(上野正章)	日本伝統音楽研究センター合同研究室 1
2009.1.12		「胡弓の謎を探る —その源流と魅力—」(竹内有一)	
2009.2.7		「幸若舞に能の源流をみる—中世芸能の伝承と復元 <敦盛>」 (藤田隆則)	ウィングス京都
2008.5.8	伝音セミナー	第 1 回「明治大正期の能の名手たち—謡と鼓を中心に」(藤田隆則)	日本伝統音楽研究センター合同研究室 1
2008.6.5		第 2 回「花街のうたを聴く—近代日本の女性ボーカリストたち—」(竹内有一)	
2008.7.3		第 3 回「祭礼囃子の SP レコードをきく」(田井竜一)	
2008.9.4		第 4 回「俗謡—端唄・小唄・俗曲など—を聴く」 (久保田敏子)	
2008.10.2		第 5 回「明治期の長唄と義太夫節をきく—レコード と楽譜の接点」(山田智恵子)	
2008.11.6		第 6 回「義太夫節—美声? 難声?」(後藤静夫)	
2009.1.8		第 7 回「寄席の音曲芸を聴く—立花家橘之助を中心に」 (寺田真由美)	
2009.2.5		第 8 回「映画説明レコードとはなにか?」(今田健太郎)	
2008	でんおん 連続講座	日本伝統音楽の資料を読む—伝統芸能をよりよく 鑑賞するために—(前期)「中世芸能の資料—能をよりよく 鑑賞するための背景として」(全 10 回)(藤田隆則) 日本伝統音楽の資料を読む—伝統芸能をよりよく 鑑賞するために—(後期)「近世芸能の資料—三味線 音楽に親しむ秘訣—」(全 10 回)(後藤静夫)	日本伝統音楽研究センター合同研究室 1
平成 21 年度 (2009)			
2009.5.16	公開講座	「南観音山の囃子」(田井竜一)	京都芸術センター
2009.6.27		落語・音曲・芝居 創作和風味遊地歌留—「らく だ」に見る芸能の交流 (山田智恵子)	ウィングス京都
2009.3.6		芸能における笑いと遊び心 (久保田敏子)	京都芸術センター
2009.5.7	伝音セミナー	第 1 回「ホルンポステル『東洋の音楽』をきく」(藤田隆則)	日本伝統音楽研究センター合同研究室 1
2009.6.4		第 2 回「芝居を離れた浄瑠璃 - 新内を聴く」(後藤静夫)	
2009.7.2		第 3 回「長浜曳山祭りのシャギリをきく」(田井竜一)	
2009.9.3		第 4 回「書生節にきく流行歌の近代化」(今田健太郎)	
2009.10.1		第 5 回「『雅楽』を聴く」(久保田敏子)	
2009.11.5		第 6 回「清元節を聴く」(山田智恵子)	
2010.12.3		第 7 回「女性による寄席の音曲芸」(寺田真由美)	
2010.1.7		第 8 回「『かつぼれ』の謎」(竹内有一)	

2009	でんおん 連続講座	「近世のうた本・浄瑠璃本の出版事情 - 三味線音楽に親しむために -」(竹内有一) 前期	キャンパスプラザ京都 日本伝統音楽研究センター合同研究室 1
		「近代における諸芸・雑芸の音楽的エッセンス」(今田健太郎・寺田真由美) 前期	
		「能をよりよく鑑賞するための、音楽演出面のポイント」(藤田隆則) 後期	
		「中世京都の芸能空間—文献史料・絵画史料から読み解く—」(家塚智子) 後期	
平成 22 年度 (2010)			
2010.6.26	公開講座	「山口鷲流(さざりゅう) 狂言—地域伝承の可能性—」(藤田隆則)	大江能楽堂
2010.11.7		「京の芸能に見る創造の可能性—見え隠れする本歌取りの精神—」(後藤静夫)	京都市立芸術大学講堂
2011.2.5-2.13	連続公開講座・および展覧	「京観世の伝統—記録と記憶から聞こえるもの」(藤田隆則)	京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA
2010.5.6	伝音セミナー	第 1 回「SP レコードの作り方」(大西秀紀)	日本伝統音楽研究センター合同研究室 1
2010.6.3		第 2 回「レーベルいろいろ」(大西秀紀)	
2010.7.3		第 3 回「日本の仏教における声明の伝承と楽譜」(藤田隆則)	
2010.9.2		第 4 回「『八島もの』を聴く」(竹内有一)	
2010.10.7		第 5 回「浪曲のいろいろ」(後藤 静夫)	
2010.12.7		第 6 回「山城少椽の長時間レコードを聴く」(山田智恵子)	
2011.1.6		第 7 回「民謡・新民謡の録音を聴く」(齋藤 桂)	
2011.3.3		第 8 回「花街をどりのレコード」(大西秀紀)	
2010	でんおん 連続講座	「謡を朗読する～能をたのしく鑑賞するための準備～(前期)」(藤田隆則)	日本伝統音楽研究センター合同研究室 1
		「謡を朗読する～能をたのしく鑑賞するための準備～(後期)」(藤田隆則)	
		「丸本でよむ義太夫節～菅原伝授手習鑑・三段目桜丸切腹～」(後藤静夫)	
		「新民謡の世界 『新しさ』とは? 『民謡』とは?」(齋藤桂)	
		「古代中世の雅楽 ～院政期の箏譜『仁智要録』を弾く・聴く～」(田鍬智志)	
平成 23 年度 (2011)			
2011.9.4	公開講座	「長唄の美と魅力」(竹内有一)	京都市立京都堀川音楽高校 ホール
2011.12.19		「義太夫節 稀曲の復活」(山田智恵子)	京都府立文化芸術会館
2012.3.3		「山田検校の魅力を探る～その着眼点と既成曲の摂取～」(久保田敏子)	京都市立京都堀川音楽高校 ホール
2012.3.3～4	公開講座関連企画	「寄贈古楽器の展示と実演」	京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

2011.5.12	伝音セミナー	第1回「『SPレコードレーベルに見る 日蓄 - 日本コロムビアの歴史』を聴く」(大西秀紀)	日本伝統音楽研究センター合同研究室 1
2011.6.2		第2回「菊原琴治を聴く」(久保田敏子、大西秀紀)	
2011.7.7		第3回「三代目常磐津松尾太夫を聴く」(竹内有一、大西秀紀)	
2011.9.1		第4回「長唄の名人達」(大西秀紀)	
2011.10.6		第5回「名家のレコード」(久保田敏子、大西秀紀)	
2011.11.17		第6回「箏組歌、段物、砧物のレコード」(久保田敏子、大西秀紀)	
2011.12.1		第7回「箏曲長唄の長時間レコード」(久保田敏子、大西秀紀)	
2012.3.8	伝音セミナー	第8回「地歌・箏曲レコードの黄金時代」(久保田敏子、大西秀紀)	日本伝統音楽研究センター合同研究室 1
2011	でんおん連続講座	「能を解剖する - 謡の朗読、手付・形付の読解を通じて」(藤田隆則)	日本伝統音楽研究センター合同研究室 1
		「義太夫節の音楽としてのしくみを理解する」(山田智恵子)	
		「丸本で読む義太夫節 - 義経千本桜・三段目すし屋 -」(後藤静夫)	
		「『かっぱれ』の謎を解き、踊る」(竹内有一)	
		「浄瑠璃の『語り』(常磐津節)を体験する」(竹内有一)	
		「古代中世の雅楽 - 古楽譜から読み解く古代大陸の歌謡的旋律」(田鍬 智志)	
平成 24 年度 (2012)			
2012.10.6	公開講座	「題目立への誘い - 中世芸能と神事の世界」(藤田隆則)	日本伝統音楽研究センター合同研究室 1
2013.2.3		「黒御簾音楽を探る - 芸談と資料研究 -」(竹内有一)	
2012.5.10	伝音セミナー	第1回「三世竹本大隅太夫の『熊谷陣屋』を聴く」(大西秀紀)	日本伝統音楽研究センター合同研究室 1
2012.6.7		第2回「謡の録音をきく」(藤田隆則)	
2012.7.5		第3回「『寺子屋』のいろいろ」(大西秀紀)	
2012.9.6		第4回「能の囃子の録音をきく」(藤田隆則)	
2012.10.4		第5回「上方歌舞伎の録音を聴く - 『雁のたより』 -」(前島美保)	
2012.11.1		第6回「岡本文弥の新内節を聴く」(竹内有一)	
2012.12.6		第7回特別講演「ロシアにおける日本音楽への関心」(ナタリア・クロブコヴァ)	
2013.1.10		第8回「義太夫三味線の表現」(後藤静夫)	
2013.2.7		第9回「昭和後期 " 現代音楽 " の発掘」(田鍬智志)	
2013.3.7		第10回「祇園小唄の世界」(大西秀紀)	

2012	でんおん連続講座	「能の音楽の原型をさぐる－他のジャンルの比較や演出資料を通じて」(藤田隆則) 「義太夫節の音楽としてのしくみを理解する」(山田智恵子) 「雅楽よもやま噺～音と文字からのアプローチ～」(田鍬智志、三島暁子) 「歌舞伎音楽入門－江戸と上方－」(竹内有一)	日本伝統音楽研究センター合同研究室 1
平成 25 年度 (2013)			
2013.11.9	公開講座	「西浦田楽－伝承の現在と未来－」	京都芸術センター フリースペース
2014.1.25		「浪曲の音楽性について考える」(時田アリソン)	京都市立京都堀川 音楽高校 ホール
2013.5.9	伝音セミナー	第 1 回「演奏家の個性」(大西秀紀)	日本伝統音楽研究センター合同研究室 1
2013.6.6		第 2 回「宝生流の謡をきく」(藤田隆則)	
2013.7.4		第 3 回「お伊勢参りとその周辺」(三島暁子)	
2013.9.5		第 4 回「上方歌舞伎の囃子の世界」(前島美保)	
2013.10.3		第 5 回「義太夫節の『節尽くし』を聴く I」(山田智恵子)	
2013.11.7		第 6 回「義太夫節の『節尽くし』を聴く II」(後藤静夫)	
2014.1.9		第 7 回「乗り物とレコード」(大西秀紀)	
2014.2.6		第 8 回「雅楽の今昔 ～復元・再現演奏を聴く～」(田鍬智志)	
2014.3.6		第 9 回「岡本文弥の新内節を聴く その 2」(竹内有一)	
2013	でんおん連続講座	「義太夫節の音楽としてのしくみを理解する」(山田智恵子) 「丸本で読む義太夫節」(後藤静夫) 「能の音楽の原型をさぐる－他のジャンルの比較や演出資料を通じて」(藤田隆則) 「謡を楽しむ文化－京観世とその周辺」(藤田隆則)	日本伝統音楽研究センター合同研究室 1
平成 26 年度 (2014)			
2014.9.14	公開講座	「雅楽 時空をこえた出会い 遠州の小京都 森町の舞楽×古代中世雅楽譜の解説」(田鍬智志)	京都市西文化会館 ウエスティ
2014.11.20		「東アジアにおける近代音楽と作曲」(時田アリソン)	下京いきいき市民 活動センター
2015.2.2		「常磐津節の伝承と現在」(竹内有一)	京都芸術センター 講堂
2014.11.21	国際シンポジウム	「東アジアにおける近代と音楽 －データベースを軸として－」	京都市立芸術大学 大学会館交流室

2014.5.8	伝音セミナー	第1回「西浦田楽の歌謡を聞く」(藤田隆則)	日本伝統音楽研究センター合同研究室 1
2014.6.5		第2回「一中節「夕霞浅間嶽」をきく」(竹内有一)	
2014.7.3		第3回「昭和後期の”現代音楽”の発掘」(田鍬智志、竹内直)	
2014.9.4		第4回「古曲保存会義太夫節レコードとその後」(山田智恵子)	
2014.10.5		第5回「乗り物とレコード2」(大西秀紀)	
2014.11.6		第6回「秋田県の「掛唄」に見る娯楽としての掛け合い歌」(梶丸岳)	
2014.12.4		第7回「東アジアにおける音楽の近代とナショナル・アイデンティティー ―グローバル～ローカルの狭間で―」(時田アリソン)	
2014.12.18		第8回「真宗高田派に伝わる天台系声明」(鷹阪龍哉)	
2014.1.9		第9回「門付けとしての三番叟まわし」(野町菜々子)	
2014.2.5		第10回「日本の作曲と民謡」(竹内直)	
2014.3.5		第11回「国勢調査とレコード」(大西秀紀)	
2014	でんおん連続講座	「歌舞伎音楽入門2―豊後系浄瑠璃を軸に―」(竹内有一) 「能の音曲としての骨組み―囃子、曲節、拍子、吟」(藤田隆則) 「音楽としての義太夫節」(山田智恵子) 「平安末期・鎌倉期の舞楽 ―音楽と舞の様式をさぐる―」(田鍬智志) 「能を題材とした長唄曲1」(武内恵美子)	日本伝統音楽研究センター合同研究室 1
平成 27 年度 (2015)			
2016.6.13	公開講座	「『平家』から見た日本音楽の歴史」(山田智恵子)	ウイングス京都 イベントホール
2016.10.3		「掛唄から見る即興と相互行為」(梶丸岳)	日本伝統音楽研究センター合同研究室 1
2016.11.28		「義太夫節の精華 ―竹本駒之助 九段目を語る―」(山田智恵子)	ウイングス京都 イベントホール
2016.3.2		「義太夫節 通し狂言の復曲」(山田智恵子)	京都芸術センター 講堂
2016.3.2	シンポジウム	「伝統音楽の身体にふれる―新しい知に向けて―」(藤田隆則)	京都芸術センター 講堂

2015.5.2	伝音セミナー	第1回「日本の作曲の「近代」を聴くー山田耕筰と信時潔ー」(竹内直)	日本伝統音楽研究センター合同研究室1
2015.6.4		第2回「京都のうた」(大西秀紀)	
2015.6.27		第3回「舞楽いろいろー映像でめぐる中央と地方の伝承ー」(田鍬智志)	
2015.7.20		第4回「15周年企画特別伝音セミナー 安藤朴翁の琴韻を聴く(京都市西文化会館 ウェスティ伝統芸能シリーズ)」(伏見无家・武内恵美子)	
2015.7.30		第5回「秋田民謡を聴く」(梶丸岳)	
2015.8.6		第6回「辞典の話ー「音楽」はどのように記述されてきたかー」(上野正章)	
2015.9.3		第7回「上方の囃子いろいろー芝居・花街・寄席・相撲ー」(前島美保)	
2015.10.1		第8回「京都のうた2ー祇園甲部の歌声」(大西秀紀)	
2015.11.5		第9回「「京都ー京ことばと古都の風物詩ー」を聴く」(上野正章)	
2015.12.3		第10回「日本映画のなかの伝統音楽ー1950年代の日本映画を中心にー」(竹内直・長門洋平)	
2015.1.7		第11回「平安末・鎌倉期の雅楽にみる 太食調(た いしきちょう)の呂・律」(山口敦子)	
2015.2.4		第12回「金春流の謡をきく」(藤田隆則)	
2015	でんおん連続講座	「音楽としての義太夫節」(山田智恵子) 「性と役を語り分けるー常磐津節「うつぼ猿」実践入門ー」(竹内有一) 「英語による日本音楽概論」(時田アリソン) 「常磐津節実践入門『うつぼ猿』その2」(竹内有一) 「琴の歴史と京都の琴士1」(武内恵美子) 「平安末期の雅楽ー藤原師長の琵琶譜『三五要録』と箏譜『仁智要録』を弾くー」(田鍬智志)	日本伝統音楽研究センター合同研究室1
2015.3.24	所長サロン	第1回「モスクワ音楽院における日本の音楽」 Japanese music in the Moscow Conservatory (マーガリータ・カラティギーナ)	日本伝統音楽研究センター合同研究室1
2015.4.21		第2回「そのあたりのものでござる」ハワイの日本伝統音楽 (ジューリー・イエツィ)	
2015.5.12		第3回「日本音楽の将来、そのとき日本人はどこに」 (バーバラ・ルーシュ)	
2015.6.18		第4回「自作を語る: Bat of No Bird Island (2013)、大比礼 (2015)」(ポール・キクチ)	
2015.6.23		第5回「能の道・能への道」(ディエーゴ・ペレッキア)	

別表：出版物一覧

発行年月	タイトル	
日本伝統音楽研究（紀要）		
2004-3	日本伝統音楽研究 第1号	
2005-3	日本伝統音楽研究 第2号	
2006-3	日本伝統音楽研究 第3号	
2007-3	日本伝統音楽研究 第4号	
2008-3	日本伝統音楽研究 第5号	
2009-3	日本伝統音楽研究 第6号	
2010-3	日本伝統音楽研究 第7号	
2011-3	日本伝統音楽研究 第8号	
2012-3	日本伝統音楽研究 第9号	
2013-6	日本伝統音楽研究 第10号	
2014-6	日本伝統音楽研究 第11号	
2015-6	日本伝統音楽研究 第12号	
日本伝統音楽研究センター研究報告		
2008-03	日本の伝統音楽を伝える価値—教育現場と日本音楽—（編者：久保田敏子・藤田隆則）	
2008-03	詞草本の世界—近世のうた本・浄瑠璃本の出版事情—（編者：竹内有一）	
2008-12	祇園囃子の源流に関する研究（編者：田井竜一）	
2009-03	民俗芸能における神楽の諸相（編者：吉川周平）	
2010-03	近代日本における音楽・芸能の再検討（編者：後藤静夫）	
2012-3	地歌箏曲研究	
2012-3	歌と語りの言葉とふしの研究	
2012-3	近代日本における 音楽・芸能の再検討 II	
2014-3	三味線音楽の旋律型研究—町田佳聲をめぐって—	
日本伝統音楽研究センター研究叢書		
2005-05	都市の祭礼—山・鉾・屋台と囃子—（編者：植木行宣・田井竜一）	
日本伝統音楽資料集成		
2002-03	第1巻	邦楽歌詞研究 1 三味線組歌 表組（代表編集者：久保田敏子）
2003-03	第2巻	邦楽歌詞研究 2 三味線組歌 破手組・裏組（代表編集者：久保田敏子）
2004-03	第3巻	邦楽歌詞研究 3 三味線組歌 中組・奥組（代表編集者：久保田敏子）
2004-03	第4巻	日本三代実録音楽年表（代表編集者：スティーヴン・G・ネルソン）
2005-03	第5巻	四天王寺聖霊会舞楽・能生町白山神社舞楽・遠江国一宮小國神社古式舞楽における太平楽（泰平楽）の三者比較（代表編集者：高橋美都）
2006-03	第6巻	日本伝統音楽に関する歴史的音源の発掘と資料化（代表編集者：久保田敏子）
2009-03	第7巻	文政元年版『歌曲時習考』収載の現行曲研究—詞章翻刻と現行の異同検証—（代表編集者：久保田敏子）
その他		
2006-03	図録	田邊尚雄・秀雄旧蔵 楽器コレクション図録
2009-03	音楽 CD	幸若舞＜安宅＞＜敦盛＞—平成20年度公開講座における上演—（企画／構成：藤田隆則）

2010-03	DVD	国指定無形重要民俗文化財—幸若舞〈安宅〉〈敦盛〉—（企画／構成：藤田隆則 録画／制作：東正子）
2011-03	図録	SPレコードレーベルに見る日蓄—日本コロムビアの歴史
2011-12	DVD	山口県指定無形文化財 山口鷺流狂言〈柿山伏〉〈千鳥〉〈鬼瓦〉
2013-01	DVD/Blu-ray	義太夫節 稀曲の復活
2013-03	DVD/Blu-ray	長唄の美と魅力—表現を生み出す力—
2014-04	DVD	西浦田楽 —伝承の現在と未来—
2015-07	DVD	雅楽 時空をこえた出会い— 遠州の小京都 森町の舞楽 × 古代中世雅楽譜の解説—
2015-11	DVD	「平家」から見た日本音楽の歴史
日本伝統音楽研究センター所報		
2001年より2012年まで通算13号発行（2013年以後は「日本伝統音楽研究」（紀要）に合併）		